

9月 24日(木曜日)「赦された喜び」

【新改訳 2017】

ルカ 7.36-50

「だから、わたしは『この女の多くの罪は赦されている』と言います。それはというのは、彼女がよけい愛したからです。……」
……イエスは女に言われた。『あなたの信仰が、あなたを救ったのです。安心して行きなさい。』(47-50 節)

この箇所は、一人の罪深い女が主イエスのお話を聞いて、自分のような者も赦されるということを信じ、その喜びと感謝を、精一杯表した物語です。

主イエスは、珍しく(?)パリサイ人(シモン)の家に招かれて食事をしていました。そのことを聞いてきた罪深い女は、香油を主の御足に塗って、涙ながらに御足に口づけしたのです。それは、当時客を迎えた時にする習慣に合う行為でした。主人シモンは何もしなかったので、対照的でした。

その違いは、この女には、自分の多くの罪を赦されたことを知ったための感謝があったのに、シモン

にはそれがなかったことでした。私たちは、信仰による赦しをどれほど感謝し、また喜んでいるでしょうか。

～祈り～

主よ。多く赦していただいた者にふさわしく、多く主を愛し、また、人々を愛する者としてください。

【学びのために】

香油:46節の「油」より高価なもの。類似の物語はマルコ14章、マタイ26章にもありますが、これとは別の話とされます。